

## 未来に向けた、無限の可能性。

新入学、新学期、新しい学校生活がスタートしました。  
府立高校では、八幡高校・南八幡高校の校風と伝統を受け継ぎ、更に発展させる学校として、京都八幡高校が開校しました。

山城高校「文理総合科」、福知山高校「文理科学科」、城南高校「教養科学科」では、それぞれ特色ある専門学科を新設し、学校の歴史に新しいページを開きました。



城南高等学校



京都八幡高等学校



山城高等学校



福知山高等学校

新たな道程のはじまりです。

木津川市立<sup>くにあだい</sup>州見台小学校は、木津川市発足とともに新設校として産声をあげました。  
南丹市では、五ヶ荘小学校が殿田小学校に、宇治田原町では、奥山田小学校が宇治田原小学校に統合し、新しい学校の歴史を歩み出しました。



宇治田原小学校



州見台小学校



殿田小学校

「心の教育」  
学習資料集

## 「京の子ども 明日へのとびら」完成

京都の英知を結集して、京の子どもたちにおくる生き方応援メッセージ集「京の子ども 明日へのとびら」が完成し、京都府内の小・中学生に配付しました。

いよいよ本年度から各学校で、豊かな心をはぐくむための幅広い学習に活用されることとなりました。

一人一人が人間としてのよりよい生き方を見つめ、子どももおとなとともに考え、みんなで学ぶ京都独自の内容構成



完成した「京の子ども 明日へのとびら」を手にする  
山折作成検討委員会座長と田原教育長

人間として大切にしたい「**普遍のテーマ**」を取り上げ、資料化  
～小学校低・中・高学年編、中学校編の4分冊に編集～

京都にゆかりがあり、各専門分野で活躍の多彩な執筆陣による**特別書き下ろし文**

全58編

児童生徒作文と執筆者から子どもたちへの熱い**応援メッセージ**

全38編

道徳の時間・教科の学習・校内研修・家庭での団らんなど幅広い活用が可能

府民ほっと  
メッセージ

子どもたちの豊かな成長を願い、励ます府民からのエールを紹介  
◎「きみも身につけよう、社会のマナーやルール」  
◎「こんなすてきな子どもに出会いました」

# 平成19年度 教育委

府民の教育に対する大きな関心と期待に応えるため、平成19年度当初予算では確かな学力の向上、いじめ・不登校への総合対策や、家庭・地域社会の教育力の向上などを施策の重点に据え、『京の子ども、夢・未来』プラン2』に基づく京都府の教育改革を一層推進するための経費を計上しています。

平成19年度教育委員会の予算総額は2,066億7,663万円で、京都府の予算総額の約4分の1を占めています。

## A 学力の充実・向上と個性や能力の伸長を図る教育の推進

### 京のまなび教室推進事業費 (新規) [1億300万円]

小学校や社会教育施設などを活用した「京のまなび教室」の開設を支援し、土曜日などにおける子どもの体験活動・学習活動の充実を図ります。



### 学習習慣確立支援事業費 (新規) [2,390万円]

小学校の早い段階から、基本的な生活習慣を確立させ、学習習慣を定着させるため、学校の担任への助言や家庭と連携した取り組みを支援する「まなびアドバイザー」を配置します。

### 京の子ども学力充実総合推進事業費 [5,478万円]

#### ◆学力充実・向上システム [1,000万円]

「京の子ども夢・未来校」学校が企画・立案する学力向上プログラムの公募制を実施し、採択校では教材開発・授業改善に取り組み、府内の学校へ実践成果の波及を図ります。



#### ◆小学校基礎学力診断テスト・

##### 中学校学力診断テスト [1,700万円]

府内小・中学校の子どもたちの学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導や授業改善に役立てます。

#### ◆学力・学習改善プロジェクト推進 (新規) [2,558万円]

実験の演示・体験などによる小学校理科教育の活性化や、教員の指導力向上を図るため、「理科支援員」を配置します。

### 小・中学校社会人講師配置事業費 [1,000万円]

「京の子どもへ夢大使派遣事業」

多様な分野の専門家や著名人を「心のせんせい」、「科学探偵士」、「ITの達人」、「言葉の達人」として小・中学校に派遣し、子どもたちの興味・関心や学習意欲を高める授業を行います。

### 子どものための京都式少人数教育推進費 [77億937万円]

#### ◆小学校低学年指導充実 [7億6,499万円]

小学校1・2年生で、2人の先生による指導を行うための教員を配置します。配置は、基本的に30人を超える学級ですが、学校の状況に応じて弾力的に行います。

#### ◆京の子ども・少人数教育推進 [68億4,848万円]

小・中学校で一人一人の子どもに応じた指導を行うため、少人数授業・チームティーチング・少人数学級を市町村教育委員会の選択で実施します。

#### ◆全中学1年生英数少人数教育実施 [9,590万円]

中学校1年生の英語・数学の基礎学力の定着を図るため、30人を超える学級において、少人数教育が実施できるよう教員を配置します。

### 特別支援教育充実事業費 [2億2,000万円]

LD(学習障害)、ADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症など特別な支援を必要とする子どもたちを学校全体で支援する体制を確立し、個別・少人数指導やチームティーチング指導など一人一人のニーズに応じた指導ができるよう、府内の小・中学校を対象に100人の教員を配置します。

### 府立高校「教育改革チャレンジプラン」支援事業費 [8,479万円]

生徒一人一人の確かな学力の向上と希望進路の実現に向けて、府立高校が主体的に企画し、教育改革を推進する取り組みを支援します。

#### ◆「確かな学力」向上プラン [2,450万円]

府立高校が企画する学力充実・向上プログラムの企画を「学力向上フロンティア校」として採択し、各学校の主体的な取り組みを支援します。

## 基礎学力の定着は、生活・学習習慣の確立から

(府教委 生活・学習習慣に関するアンケート調査結果から)

府教委では、平成18年度に小・中学校の児童生徒を対象に家庭や学校生活についての実態や意識についてのアンケート調査を実施しました。それらの結果と診断テストの結果と関連させたところ、一定の傾向が見られ、基礎学力を定着させるためには、生活・学習習慣をしっかり身に付けさせることが大切であることがさらに明らかになりました。今後とも学校・家庭・地域が連携し、これらの習慣づけを図るための取り組みを積極的に進めていきます。

(「診断テスト(国語・算数)」の結果に応じてほぼ3等分し、正答率の高い順にA群、B群、C群とした)

気付いて  
いましたか?

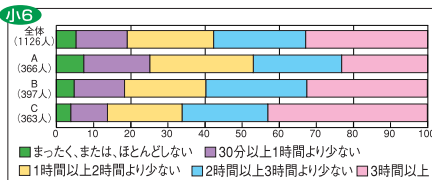
毎日2時間のテレビタイム

↓ ほぼ匹敵

小学校6年生の年間授業時間

### 生活習慣

Q 1日のテレビ、ゲームの時間は?



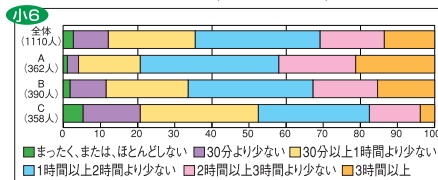
テレビ等に関わる時間が長い児童の割合は、A群よりC群の方が高い。

そのほかに

- 就寝時刻が遅い児童生徒の割合はA群が一番低く、また、朝食を毎日食べている児童生徒はA群が一番高い。

### 学習習慣・学習意欲

Q 1日の勉強時間は?(塾等を含む)



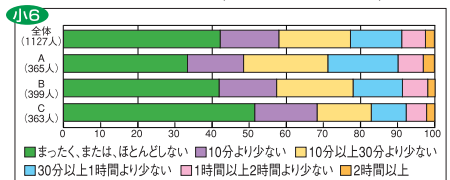
平日の家庭での学習時間が30分に満たない児童はC群では約2割いる。

そのほかに

- 家で勉強しようという気持ちがわからない、または、宿題以外は勉強する気持ちがわからない児童生徒が5~6割いる。

### 読書習慣

Q 1日の読書時間は?(マンガ、雑誌除く)



読書時間はC群よりA群が多く、A群でも10分より少ない児童が約5割いる。

そのほかに

- 小さいときに本を読んでもらったり、お話をしてもらったことのある児童生徒の割合は約7割で、A群が高い傾向にある。

### 府教委では

- 「早寝・早起き・朝ごはん」の推進運動、「親のための応援塾」や「まなびアドバイザーの配置」など家庭を支援するための取り組みを充実します。
- 「子供のための京都式少人数教育」や「京の子どもへ夢大使派遣事業」などを活用し、わかりやすい授業、魅力ある授業を推進します。
- 「みんなで読もう!1000万冊読書キャンペーン」などを活用し、読書活動を推進します。

# 員会当初予算の概要

◆「豊かな未来」実現プラン  
【6,029万円】  
学習宿泊・進路補習や資格取得促進など希望進路の実現に向けた取り組みを支援します。  
今年度から京都版高校生数学コンテストを開催し、生徒の数学的資質を向上します。



**eスクール推進事業費【1億3,529万円】**  
府立学校普通教室の校内LANや生徒用パソコンなどの整備を進めます。

## B 豊かな人間性の育成と健康や体力の向上を図る教育の充実

**心のサポート推進事業費【2億9,134万円】**  
いじめや不登校といった課題に対応するため、子どもたちや保護者の相談などへの総合的なサポート体制を充実するとともに、生徒指導を充実します。

◆**スクールカウンセラーの配置(拡充)【1億8,444万円】**  
すべての中学・高校に臨床心理士をスクールカウンセラーとして配置し、生徒、教職員、保護者に対する助言・支援体制を充実します。

◆**教育カウンセリング充実(新規)【200万円】**  
教員向けのカウンセリング・マインド研修を実施するほか、いじめの問題に係わる保護者向けセミナーを実施します。

◆**いじめ対策24時間電話相談(新規)【3,000万円】**  
子どもや保護者がいつでも相談できる24時間体制での電話相談を実施します。

◆**心の居場所サポーターの配置【2,400万円】**  
不登校の未然防止・早期解決を図るため、保健室や相談室などに登校する子どもたちの相談や学習支援を行うため「心の居場所サポーター」を配置します。

◆**フリースクール連携推進(新規)【300万円】**  
学校に登校できない子どもたちが通うフリースクールとの連携を進め、一定の要件を満たす施設を学習評価が可能な協働施設として認定します。

## 豊かな心を育てる教育推進事業費【6,324万円】

◆**豊かな心を育てる体験活動推進【5,804万円】**  
府内すべての小・中学校で「仕事探究・体験活動、職場体験活動」などを実施し、豊かな人間性を育成します。

◆**豊かな心を育てる読書活動推進【520万円】**  
「みんなで読もう!1000万冊読書キャンペーン」や、「読書ボランティア養成講座」を実施し、子どもたちの読書環境を充実させ、豊かな心の育成を図ります。

**「京の子ども 明日へのとびら」作成費【1,344万円】**  
京都発「心の教育」の創造を目指し、「京の子ども 明日へのとびら」を活用し、子どもたちの豊かな人間性の育成を図ります。

**文化の力をはぐくむ「京育」推進事業費(新規)【1,300万円】**  
高校生の芸術文化活動の活性化や次世代に京都の伝統文化を継承する取り組みを進め、京都ならではの文化をはぐくみ、平成23年の国民文化祭の成功へつなげます。

**開放型地域スポーツクラブ推進事業費【250万円】**  
府立高校が持つスポーツ資源を有効に活用した地域スポーツクラブを創設・育成します。

## C 府民の信頼を高める学校づくり

**地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業費【2,200万円】**  
府内すべての小学校区で、家庭や地域の関係団体などと連携し、学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を充実します。

**府立学校施設整備費【42億8,300万円】**  
山城地域の府立高校再編や特別支援学校の新設を進めるほか、府立学校の耐震強化など、計画的な施設整備を進めます。

**教師力の向上**  
地元京都の大学・企業などと連携し、質の高い教員研修を実施するとともに、意欲ある退職教員の持つ豊富な経験と優れた力量を活かすための「人材バンク(仮称)」を構築します。

## D 家庭・地域社会の教育力の向上

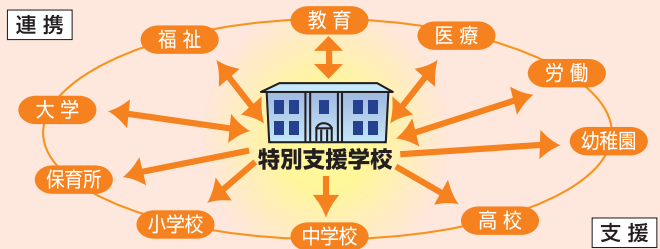
**親のための応援塾開催事業費(新規)【200万円】**  
学習習慣や生活習慣が子どもたちにしっかり身に付くよう、小学校就学前の子どもを持つ親を対象に「応援塾」を開設し、家庭の教育力の向上を図ります。

**京のわくわく探検事業費【800万円】**  
障害のある子どもも一緒に、地域の伝統文化に触れる体験活動や異世代間交流などを実施します。

## 京都府の特別支援教育が充実します。

特別支援学校に地域支援センターを開設  
地域支援コーディネーターを配置し、  
教育相談などの機能を強化

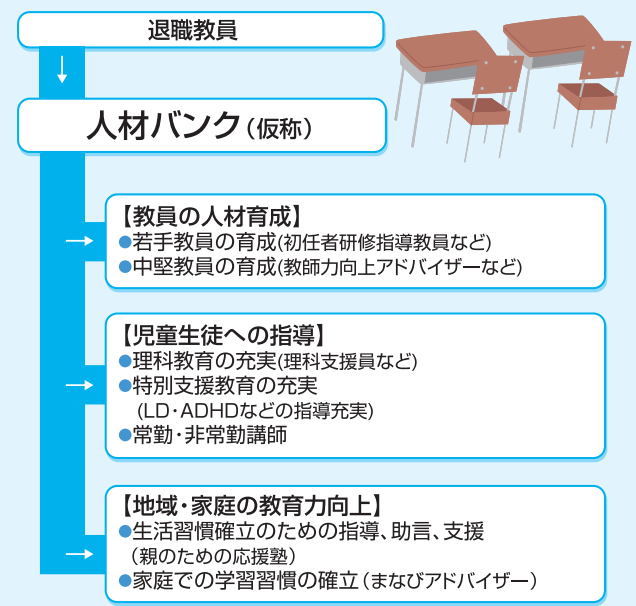
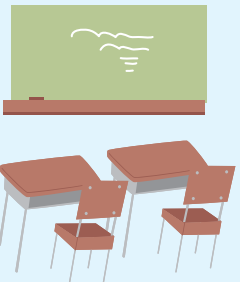
- ◆小・中学校をはじめ、幼稚園や高校においても、学習障害(LD)、注意欠陥・多動性障害(ADHD)などを含む障害のある子どもたちへの適切な教育を実施します。
- ◆特別支援学校では、在籍する子どもたちへの教育のほか、地域の小・中学校などに在籍する障害のある子どもたちへの教育についても助言と援助を行います。
- ◆地域の障害のある子どもたちのサポート体制を充実するため、府立のすべての特別支援学校10校で地域支援センターを開設するほか、教育相談や地域との連携の推進役＝地域支援コーディネーターを配置し、保護者などからの相談にタイムリーに対応できる支援体制の整備を図ります。



(注)学校教育法等の一部改正により、平成19年4月1日から、「盲学校、聾学校、養護学校」は、学校の種類としては、複数の障害に対応した教育が実施できる「特別支援学校」に移行します。京都府では、「特別支援学校」を総称として用いますが、個々の学校名については引き続き「盲学校」「聾学校」「養護学校」を使用することとしています。

## 退職教員の優れた能力を活かすための 退職教員教育サポートプロジェクト

次の世代を担う教員へ教育実践力を継承し、京都府の「教師力」の向上を図るため豊富な経験を持つ意欲ある退職教員の優れた能力を活かします。





# きょういく きた みなみ



## 子どもの体力向上実践事業

精華町立精華台小学校

平成16年度から三年間、文部科学省の委嘱を受け、精華台小学校区をモデル地域に「学校」「家庭」「地域」が連携して、子どもの体力向上に向けた事業を推進してきました。

様々な取り組みの一つとして、学校においては、課題の大きかった「柔軟性」の向上を目指して、体育科の授業の準備体操として「(体操)棒を使ったストレッチ体操」などを実施しました。その結果、全校的に柔軟性に大きな向上が見られただけでなく、学校における「骨折」などのけがの件数が著しく減少しました。

また、精華町では、この事業における子どもや保護者を対象にした「地域スポーツ」の取り組みの成果を生かし、体育協会を中心に総合型地域スポーツクラブ設立に向けて準備が進められています。



## 食を通して見つめよう!健康な生活づくり

舞鶴市中立舞鶴小学校

本校は、平成16年度から「食」に関する指導のモデル校として『食を通して見つめよう!健康な生活づくり』を研究推進のテーマとして取り組みを進めてきました。

子どもたちは「食」に関する学習をする中で、楽しみながら自分の生活を見つめ、健康の大切さに気付き、考えることができるようになってきています。『給食づくりに参加しよう』の取組では、「さやむき隊」としてえんどうや空豆などのさやむきの体験を通して、食事を作ることの苦勞や楽しさを学び、さらにおいしさを感じ取っていました。

本校では、今後も家庭や地域社会の方と連携をして、家庭ぐるみ・地域ぐるみの「食育」に取り組んでいきたいと思っています。



シリーズ

人権  
じんけん

## 心ふれあう町づくり

### ～心を耕す取り組みから、人権について考える～ 木津川市立木津小学校

「人と人」、「心と心」がつながりあう中で、自分の大切さとともに、他の人の大切さも認めたい。これは、人権を考える上で大事なことです。

木津川市の木津中学校区は、文部科学省の「人権教育総合推進地域」の指定を受けています。その校区にある木津川市立木津小学校では、学校全体で子どもの心を耕していくことを目指して、人権教育の取り組みを進めています。月1回の学校長による全校道徳や担任との学習などにより、具体的に、よりわかりやすく人権について学んでいます。

この写真は、12月の校内人権週間(1日～8日)の全校道徳の様子です。話の内容によって低学年と高学年に分けたり、保護者の方にも参観を呼びかけたりして、人権について深くより広く考える機会としています。

学校・家庭・地域が一つになって、一人一人が大切にされる社会をつくってきたいものです。



## 京都府高校生等修学支援事業について

京都府では、経済的な理由で修学を断念することがないように、高校生等修学支援事業を実施しています。

### 対象

高等学校などに在学の方、またはその保護者  
※保護者などが府内に在住していること、世帯又は保護者の所得基準などの要件があります。

### 高等学校等修学資金(修学金・修学支度金)貸与制度

●受付 随時(申請日の翌月分からの貸与)  
ただし、平成19年度新入生で、4月分からの貸与と希望者は5月15日(火)まで(既に貸与予定決定を受けている方は5月1日(火)まで)

### 修学支援特別融資利子補給制度

●受付 5月15日(火)まで(定員あり)

### 問い合わせ先

在学の高等学校または京都府教育庁指導部高校教育課奨学係  
TEL.075-414-5856

修学支援事業の内容は、在学の高等学校に配付のパンフレットまたは京都府教育委員会のホームページでご覧いただけます。  
(<http://www.kyoto-be.ne.jp/koukyou/index.html>)

シリーズ 文化財

## 平成18年度 京都府新指定・登録文化財

京都府教育委員会では、このたび12件の文化財を新たに指定・登録しましたが、その中から次の2件の文化財を紹介します。

しほんぼくがたんさいびやくえかんのんず  
美術工芸品(絵画) 紙本墨画淡彩白衣観音図(指定)所在地:京都市東山区

縦3.2m、横2.8mの巨大な画面に、岩上にすわる白衣観音の姿を描いています。白衣観音を取り囲む洞くつを乱れるところなくまとめる画面構成力、さらには岩や波を描き出す墨線の力強い筆力には、目を見張るものがあります。落款(作者の印)はありませんが、このような画風からみて本図の作者は、南北朝時代から室町時代前期にかけて活躍した東福寺の画僧吉山明兆(1352～1431)と考えられます。大作に優れた明兆の力量を十分に発揮した作品として高い価値を持っています。



名勝 上野家庭園(指定)所在地:舞鶴市

江戸時代の末まで由良川流域14箇村の大庄屋を務めていた上野家の屋敷内の、主屋座敷の南側に築かれた庭園です。

東に高まる地形を活かして、なだらかな滝と流れを造り、庭の中ほどに架かる石橋のあたりで流れは枯池に変化していきます。低い築山には、安定感のある幅広の大石を置き、座敷南正面に据えられた立石を中心とする三尊石風の石組と対照の妙を見せています。

府北部の江戸時代民家と一体で保存された庭園として価値が高いものです。

ひとりでなやまないで

24時間  
対応

いじめ電話相談

いじめられる、ともだちのことでなやんでいる...  
どんなことでもひとりでなやまず電話してください。

京都府総合教育センター 京都府総合教育センター北部研修所  
075-612-3268 0773-43-0390

来所・巡回教育相談  
月～金(祝日を除く)  
10:00～17:00

上記の電話でお申し込みください。専門のカウンセラーが直接来てお話をうかがいます。

みんなで読もう!  
1000万冊読書キャンペーン  
<http://kyoto-book1000.jp/>

